

創立85周年を迎えた白山小学校



祝白山小学校創立85周年記念式典

白山小学校は本年度、創立85周年を迎え、年間を通して学校行事を85周年記念事業として盛大に開催しています。9月22日に行われた記念の集いでは、万代太鼓部、合奏部による記念演奏や、映像とナレーションでこれまでの白山小学校のあゆみを振り返り、子どもたちから未来や地域に向けてのメッセージを呼びかけと歌でお届けしました。

また、12月1日のウィンターコンサートでは、年間を通して全校で取り組んできた地域学習の成果として、八番組の木遣りをうたいました。



地域の人材 ゲストティーチャーの活躍

地域と共に歩む学校づくり推進のため「地域と学校パートナーシップ事業」が白山小学校でもスタートして5年目となりました。

地域の方々に学習支援ボランティアとして参加だけでなく教師の要請を受け「ゲストティーチャー」として実際に授業を行っていただき、子どもたちの多様な学習活動に大変役立っています。

ゲストティーチャーに指導していただき、4年生の子どもたちで考案した白山小オリジナル弁当を11月3日の白山文化の日に販売し好評でした。

〈その他の授業例〉

- 昔の地域の様子 ●祭りの歴史 ●新潟甚句
- 木遣り唄 ●戦時中の話など



野菜苗植え



書道



投球指導



白山小オリジナル弁当

編集後記

今年の特集として「地域の祭り」住吉まつり、白山まつり、明和義人祭、千灯まつりを取り上げました。住吉まつりでは、木遣りを歌うことで参加者全員の士気を高め一体化する重要な役目を果たしてくれました。祭りを盛り上げるのは纏を曳く白山小の児童と保護者、安全を見守る先生、白新中の金棒、先額、白山小と白新中の神輿です。そして準備や指導をしてくれた住民と八番組女性部員の皆さん、全員の力を結集して無事行われた事をこの場で感謝を申し上げて編集後記とします。 山崎 一夫

発行:

白山校区コミュニティ協議会 会長 小林 直毅
新潟市中央区本町通1番町168-2 TEL & FAX
白山コミュニティハウス内 025-228-1510

編集局:

三國 和俊・小泉 正・山崎 一夫
金子 朋子・小林 栄子・桐生 信子
質問や要望がある方は、気楽にご連絡ください。

コミ協だより

はくさん



2018.1月号

特集 地域とまつり

昔から受け継がれてきたお祭りや、近年地域住民が新たに思いを込めて立ち上げたお祭りがあります。どのお祭りも、参加する方や訪れる人に、家族や友だちとの絆と思い出の場を演出してくれます。



撮影場所: 笹谷小路にて

白山校区コミュニティ協議会は、町内会・自治会の住民の生活環境と安心安全を考え、新潟市・中央区・警察署・消防局及び消防団・社協・赤十字等諸団体の窓口として、地域の課題や問題点を協力して取り組む活動を行っております。また、白山小学校・白新中学校の将来ある児童と生徒の安全と育成活動を、学校を通じてサポートしております。

夏休み!
こどもパトロール



地域を守る

防火・防犯部会は、子どもたちに防火・防犯の意識を高めてもらおうと、夏休みに入って最初の土曜日夕方から、白山校区をパトロールしています(今年度は7月22日)。新潟市消防団白山分団、白山校区担当の警察官の方々からも例年参加いただいています。揃いのほっぴで、「火の用心・戸締り用心・火の用心」と声をかけながら拍子木を打ち、ゆっくり1時間ほど校区内を回ります。今年度は子どもたちの参加が少し少なかったのですが、子どもたちの元気で澄んだ声は遠くまで響きました。

敬老会
ホンマ健康ランド



ふれあいの集い

白山コミ協主催の「敬老会」が、9月15日、ホンマ健康ランドで開かれました。コミ協区33自治町内会から総勢88名が参加し、ゲームやカラオケ等で交流しました。宴会前はお風呂に入ったり、おしゃべりをしたりと自由に過ごしました。カラオケが始まると、16名の方が次々と素晴らしい歌声を披露し、参加者は大きな拍手を送りました。「初めて参加しました。」との声も聞かれ、これからも地域のつながりを感じてもらえるように、各町内会等と協力して行っていきたいと思っています。

白山まつり



春祭りは五穀豊穰、産業繁栄を祈る祭りです。境内には、新潟名物ぼっぼ焼きなどいろいろな出店が立ち並び多くの家族連れや、若者たちでにぎわいます。また、桜の花が満開の時期に重なり訪れる人たちは祭りと花見を一緒に楽しめます。夏祭りは例大祭が行われます。今年は「風鈴まつり」も行われ、児童や若者たちが願い事を短冊に書いて風鈴につるし、願掛けをしている姿が見られました。白山公園の池には、蓮の花がきれいに咲いて心を和ませてくれます。秋祭りは、収穫を感謝する産業感謝祭が行われます。



明和義人祭



江戸時代に困窮する町民の暮らしを救おうと立ち上がった人々を明和義人として崇めました。明和義人祭は近年上古町商店街と地域の有志の人たちで立ち上げ開催されるようになりました。最大のイベントは、約3万個のお菓子をまく明和神菓まきです。みんな袋いっぱいのお菓子を拾い、笑顔で帰っていきました。白山小学校の万代太鼓部が日ごろの練習の成果を発表して多くの観衆の前で息の合った素晴らしい演奏を一生懸命演じてくれました。夜には、明和義人行列やいろいろな踊りが披露されました。



千灯まつり



毎年夏に本町通5番町・6番町商店街・人情横丁で開かれるお祭りです。道路いっぱいに、思いを込めたメッセージを書いた灯ろうを並べ、夏の夜に温かい光で町と人を照らす幻想的な催しです。夏の暑い日差しを浴びながら白山小学校の4年生が実行委員会の方と協力して灯ろうを並べました。また訪れた方々にオリジナルの千灯まつり物語の絵本や灯ろうMAPを説明・配布、グッズ紹介、お茶配りと祭りを盛り上げるための活動をし、新潟コンピュータ専門学校と協力して写真アプリも制作しました。暗くなると、灯ろうからの温かい光が街いっぱい広がりました。



平成二十九年	四月	春の火災予防運動
	五月	定期総会報告会
	六月	白山コミュニティハウス総会出席
	七月	友愛訪問反省会参加
	八月	白山小学校避難訓練参加(地震)
	九月	住吉まつり(八番組)
	十月	防火・防犯子供パトロール
	十一月	ハイパーレスキュー講習会参加
	十二月	交通街頭実技指導講習会参加
	一月	敬老会
	二月	防災視察研修会
	三月	ふれあいお茶の間(笑いヨガ)
	四月	秋の火災予防運動
	五月	防火講習会
	六月	年末の火災予防運動
	七月	新年会
	八月	新潟市消防出初式参加
	九月	広報誌「はくさん」発行と配布
	十月	子ども見守り隊情報交換会参加
	十一月	白山小学校避難訓練参加(不審者)
	十二月	ふれあいお茶の間(新大落研)
通年事業		子供見守り隊参加
		友愛訪問参加
		運営委員会・理事会
		回覧文書の作成と配布
		諸団体講演会・説明会参加
		新潟市・中央区講習会参加

29年度防災視察研修会 10月15日

1. 柏崎刈羽原子力発電所

東京電力柏崎刈羽原子力発電所を45名で見学しました。この発電所は、7基の原子炉合計で821.2万kWの発電出力のある世界最大規模の原発です。職員から安全対策について、続いて原子炉の仕組みなどの説明があり燃料棒、制御棒、核分裂、臨界、使用済み燃料等々専門用語を交えて説明を受けその後、発電所構内をバスで回り、ガスタービン発電機、消防車、海拔15mの防潮堤、原子炉建屋などを見学しましたが原発の是非は別として貴重な体験でした。



2. 信濃川大河津資料館

刈羽より移動して、燕市の信濃川大河津資料館を見学しました。大河津分水路は越後平野を水害から守ることを目的とし、洪水が越後平野で暴れまわる前に海へ流しだす人工的な河川です。模型を見ながら、洗堰、固定堰、可動堰の三つの堰によって信濃川本流の水量を調節しているとの説明をしてもらいました。これによって下流域の農業や他の産業に必要な水量確保、洪水被害が防止されるようになりました。現在分水の河口を18年計画で広げる工事を行っています。工事が開始された明治時代から150年近くたった今も黙々と続いていることに驚くと共に感動しました。



柏崎刈羽原子力発電所・大河津資料館の皆さんの丁寧な対応と懇切な説明に感謝いたします。
新潟市助成金事業

小学生を通学事故から守ろう!

小学生の登校下校時の交通事故防止の為の実施講習会が新潟市体育館で行われました。学校の役員、保護者、見守り隊、教諭など街頭指導している人達が集まり横断旗の使い方や模擬コースを使って実技練習を行いました。また、街頭指導している人達が事故に巻きこまれない対策の指導も行われました。



白山小学校避難訓練 ～地震～

6月16日・新潟地震から53年目、白山小では、地域の人々も約50人が参加して、避難訓練が行われました。13時02分、地震発生のお知らせから保護者への引き渡しまで、児童の規律正しい訓練を地域の人たちが温かく見守りました。来年も大勢ご参加ください。



まちの歴史を受け継ぎ、次の世代へ

新潟
まつり

木遣りが響いた夏

「北前船文化」は、2017年4月、「日本遺産」に認定され、その構成文化財の一つに「新潟まつり」が選ばれました。8月5、6日開催の住吉行列に、八番組、白山小、白新中の約750名が練り歩き、まつりを盛り上げました。

万代太鼓の指導をしていただいている神龍会代表から「テンポが乱れたら、ふんばれ。」と仲間と演奏する心構えを教わりました。また、八番組山崎副委員長は「誇りをもって気品あるまつりにしましょう。」と折々にまつりを担う心意気を伝えてきました。

そして迎えた本番。八番組捻りがまつり開始の拍子木を打ち、万代太鼓の力強い音と笛の音が響き、まつりは一気に熱気が高まりました。白山小、白新中の子どもたちが担ぐみこしが上へ下へと舞い、威勢のいい「ワッショイ！」のかけ声が町中に広がりました。本供奉の大役を立派に果たしました。

八番組は白山小、白新中の先生方のご協力のもと、この1、2年は木遣りの継承に努めてきました。江戸時代から続く木遣りを子どもたちと一緒に歌えることは、まつりが次の世代に着実に根付いていることを実感させてくれました。



白山小



木遣りとの出会い

ぼくは、はじめて「きやり」と聞いたとき何のことかまったくわかりませんでした。学習を進めていくうちにすごく伝統のあるものだとわかりました。そして、八番組の方に教わって唄えるようになりました。本番の住吉行列でもうまく唄えてうれしかったです。これから伝統のある「木遣り唄」を全校に広めていきたいです。

(白山小学校3年 壺月慎之介)

八番組



白山小の木遣り授業

白山小学校の授業で八番組の木遣りが歌われています。歌の中に「万両」という花の名前が度々出てきます。万両は七月に白い花を咲かせます。新潟祭の原点である湊祭は江戸時代七月に行われていました。地域の人々が時代を超えて脈々と受け継いできた木遣りを、これからもみんなで大切に受け継いでいきましょう。

(八番組捻り 武田一義)

白新中



金棒に挑戦して

小学一年から住吉行列に参加していて、今年は金棒に挑戦しました。金棒をつきながら長い距離を二日間歩き筋肉痛でしたが、しっかり役目を果たしました。最後に白山神社で八番組代表として木遣りを歌いました。緊張しましたが堂々と元気に歌えました。八番組の皆さんには金棒や木遣りを指導していただきお世話になりました。

(白新中学校3年 小林亮平)